

# 野村世界業種別投資シリーズ (世界ヘルスケア株投資)

## 運用報告書(全体版)

第7期(決算日2016年6月28日)

作成対象期間(2015年6月30日~2016年6月28日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託期間	2009年8月27日から2019年6月28日までです。
運用方針	世界各国のヘルスケア関連企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。株式への投資にあたっては、定量分析により銘柄群の絞込みを行った後、各国の医療制度・技術の進展動向等を考慮しつつ、成長性、利益構造、財務内容などの観点からファンダメンタルズ分析を行い、組入銘柄を決定します。また、個別銘柄評価とポートフォリオ全体のリスク特性などを総合的に勘案し、ポートフォリオを構築します。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界各国のヘルスケア関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			ベンチマーク		株式比率 株組入比率	株式比率 株先物比率	純資産額
		税金	込配	み金	期騰	落中			
	円		円		%	%	%	%	百万円
3期(2012年6月28日)	10,592		50		4.7	4.2	98.7	—	156
4期(2013年6月28日)	16,490		335		58.8	60.7	97.0	—	1,171
5期(2014年6月30日)	20,182		760		27.0	31.6	98.4	—	889
6期(2015年6月29日)	27,230		1,100		40.4	44.9	98.4	—	1,553
7期(2016年6月28日)	19,602		610		△25.8	△26.8	98.1	—	1,024

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\* ベンチマーク（＝MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・円換算ベース））は、MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・ドルベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。  
 \* MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・ドルベース）は、MSCIが開発した指数で、同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。  
 (出所) MSCI、ブルームバーグ

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

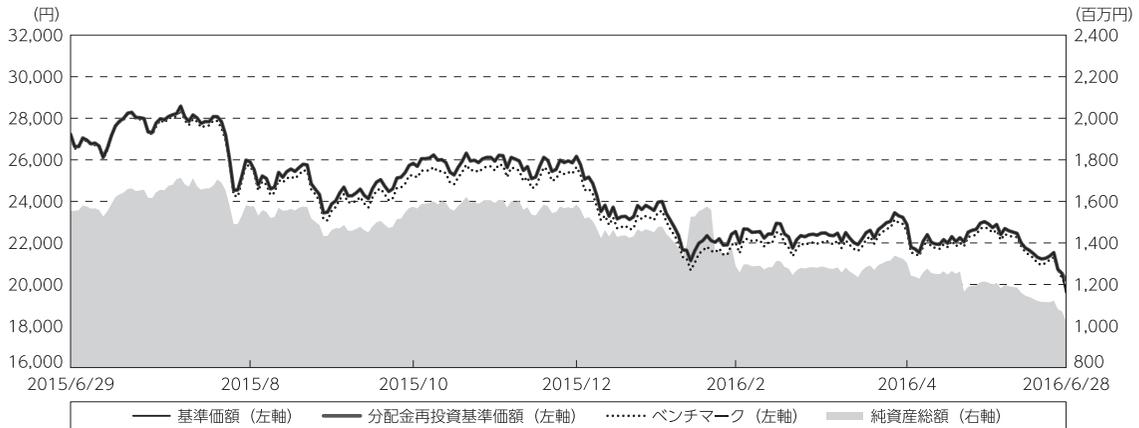
年月日	基準価額	基準価額		ベンチマーク		株式比率 株組入比率	株式比率 株先物比率
		騰落	率	騰落	率		
	円		%		%	%	%
(期首) 2015年6月29日	27,230		—		—	98.4	—
6月末	26,637		△ 2.2		△ 2.6	96.1	—
7月末	27,923		2.5		2.0	97.2	—
8月末	25,904		△ 4.9		△ 5.6	96.9	—
9月末	23,481		△13.8		△15.2	98.6	—
10月末	25,828		△ 5.1		△ 7.2	97.8	—
11月末	26,119		△ 4.1		△ 5.7	98.0	—
12月末	26,166		△ 3.9		△ 5.8	99.1	—
2016年1月末	23,563		△13.5		△15.2	98.1	—
2月末	22,546		△17.2		△19.2	98.8	—
3月末	22,481		△17.4		△18.8	98.7	—
4月末	22,884		△16.0		△17.2	99.0	—
5月末	23,025		△15.4		△16.4	98.5	—
(期末) 2016年6月28日	20,212		△25.8		△26.8	98.1	—

\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



期 首：27,230円

期 末：19,602円 (既払分配金 (税込み) : 610円)

騰落率：△25.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首 (2015年6月29日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、MSCI All Country World Health Care (税引後配当込み・円換算ベース) です。ベンチマークは、作成期首 (2015年6月29日) の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

- (下 落) ギリシャの債務不履行懸念が高まる中、中国人民元の切り下げをきっかけに中国景気の先行き不透明感が高まったこと、中国経済への不安から世界経済の減速懸念が台頭したこと、2016年の米国大統領選挙で民主党が政権を握った場合に、薬価引き下げなど医薬品業界に対する改革が行なわれる可能性が浮上したこと
- (上 昇) ドラギ ECB (欧州中央銀行) 総裁が追加金融緩和を示唆したことや中国が追加利下げを発表したこと、2015年12月中旬にFOMC (米連邦公開市場委員会) で利上げが決定され、当面の金融政策をめぐる不透明感が後退したこと、市場予想を上回る7-9月期決算の発表が相次いだことや、大手企業による大型合併の可能性が報道され、業界の再編期待が高まったこと

- （下 落）中東情勢の緊迫化に加え、主要国の景気の先行き不透明感が高まったことなどを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったこと
- （横ばい）市場予想を上回る米国経済指標の発表、ECBによる追加金融緩和策の発表、およびイエレンFRB（米連邦準備制度理事会）議長が早期利上げに慎重な姿勢を示したこと、大手医薬品企業が有望な新薬候補を持つバイオテクノロジー企業に対し買収提案をする動きなどが支援材料となったこと、一方でイギリスがEU（欧州連合）を離脱した場合の世界経済に与える影響が懸念されたこと
- （下 落）日銀が金融政策の現状維持を決めたことを受け、円高が進んだこと、イギリスのEU離脱が決定した後、投資家のリスク回避姿勢が強まったこと

## ○投資環境

当初は、ギリシャの債務不履行懸念が高まる中、2015年8月中旬以降、中国人民元の切り下げをきっかけに中国景気の先行き不透明感が高まったことや、中国経済への不安から世界経済の減速懸念が台頭したことで、世界のヘルスケア株は下落しました。また、2016年の米国大統領選挙で民主党が政権を握った場合に、薬価引き下げなど医薬品業界に対する改革が行なわれる可能性が浮上したことも、投資家心理を悪化させました。10月以降、ドラギECB総裁が追加金融緩和を示唆したことや中国が追加利下げを発表したこと、および12月中旬にFOMCで利上げが決定され、当面の金融政策をめぐる不透明感が後退したことなどが好感され、年末にかけては安定した動きとなりました。また、市場予想を上回る7-9月期決算の発表が相次いだことや、大手企業による大型合併の可能性が報道され、業界の再編期待が高まったことなども支援材料となりました。しかし、2016年の年明け以降は、中東情勢の緊迫化に加え、主要国の景気の先行き不透明感が高まったことなどを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、中長期的な成長は見込まれるものの相対的にバリュエーション（投資価値評価）が高い銘柄を中心に大きく調整する展開となりました。2月中旬以降は、市場予想を上回る米国経済指標の発表、ECBによる追加金融緩和策の発表、およびイエレンFRB議長が早期利上げに慎重な姿勢を示したことなどが好感され上昇基調となりました。その後も、大手医薬品企業が有望な新薬候補を持つバイオテクノロジー企業に対し買収提案をする動きなどが支援材料となりましたが、イギリスのEU離脱が決定した後は、グローバル経済の先行き不透明感が高まったことから下落しました。当期においては、世界のヘルスケア株は下落しました。為替市場では、米国の利上げ観測が後退する中、グローバルな景気減速懸念や、日銀が6月に金融政策の現状維持を決めたことに加え、イギリスのEU離脱が決定した後、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどを背景に、ドル安・円高基調が継続しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### ・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

### ・期中の主な動き

- (1) 地域・国別配分では、米国、イギリスなどをオーバーウェイト（ベンチマークに比べ高めの投資比率）とし、日本、オーストラリアなどをアンダーウェイト（ベンチマークに比べ低めの投資比率）としました。
- (2) 業種別配分では、ヘルスケア・プロバイダー／ヘルスケア・サービスやバイオテクノロジーなどをオーバーウェイトとし、ヘルスケア機器・用品やライフサイエンス・ツール／サービスなどをアンダーウェイトとしました。
- (3) 個別銘柄では、ジョンソン・エンド・ジョンソン（米国）、ロシュ・ホールディング（スイス）、ギリアド・サイエンシズ（米国）などを上位に組み入れました。
- (4) 為替につきましては、ヘッジ（為替の売り予約）はしていません。

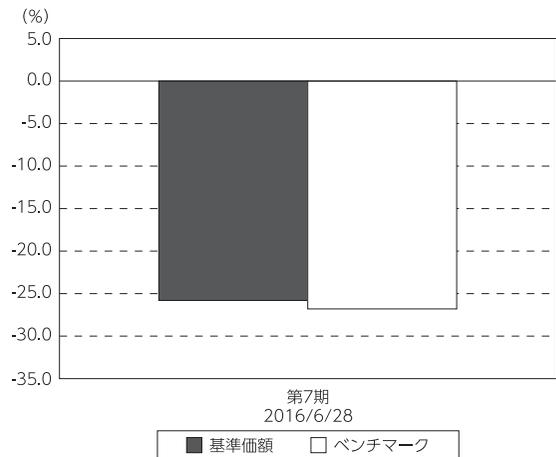
## ○当ファンドのベンチマークとの差異

ベンチマーク（MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・円換算ベース））が26.8%の下落となったのに対して、基準価額は25.8%の下落となりました。

### （主なプラス要因）

- ①地域・国別配分で、株価騰落率がベンチマークを下回ったカナダをアンダーウェイトとしたことや、株価騰落率がベンチマークを上回った米国をオーバーウェイトとしたこと
- ②業種別配分で、株価騰落率がベンチマークを上回ったヘルスケア・プロバイダー／ヘルスケア・サービスをオーバーウェイトとしたこと
- ③個別銘柄で、株価騰落率がベンチマークを下回ったバリアント・ファーマシューティカルズ（カナダ）などをアンダーウェイトとしたことや、株価騰落率がベンチマークを上回ったジョンソン・エンド・ジョンソン（米国）などをオーバーウェイトとしたこと

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) ベンチマークは、MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・円換算ベース）です。

**(主なマイナス要因)**

- ①地域・国別配分で、株価騰落率がベンチマークを上回った日本やオーストラリアなどをアンダーウェイトとしたこと
- ②業種別配分で、株価騰落率がベンチマークを上回ったヘルスケア機器・用品をアンダーウェイトとしたこと
- ③個別銘柄で、株価騰落率がベンチマークを下回ったアメリソースバーゲン（米国）などをオーバーウェイトとしたこと

**◎分配金**

今期の収益分配金については、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり610円とさせていただきます。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

**○分配原資の内訳**

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第7期
	2015年6月30日～ 2016年6月28日
当期分配金	610
(対基準価額比率)	3.018%
当期の収益	—
当期の収益以外	610
翌期繰越分配対象額	9,602

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◎今後の運用方針

### ・投資環境

- (1) 米国経済は、1－3月期に減速しましたが、足元の経済指標が示唆するように4－6月期には個人消費の伸びの加速などにより持ち直すと見込まれます。イギリスでは、国民投票の結果、EUからの離脱が選択されましたが、貿易などを通じて米国経済にもたらされる直接的な影響については限定的であると考えています。一方、2017年にかけて、資源価格底打ちに伴うインフレ率の上昇や、企業収益への影響については、リスク要因として警戒すべきだと判断しています。また、今後の利上げのペースに関しては、緩やかなものにとどまると考えています。FRBは利上げを決定するにあたり、国内経済の現状・見通しに加えて、金融市場動向が米国経済に与える影響も考慮すると考えられることから、米国経済指標に加え、世界経済・金融市場の動向などに注意する必要があると考えています。
- (2) 欧州経済は、1－3月期の実質GDP（域内総生産）成長率が前期比年率+2.1%と、前期から加速しました。今後も、低インフレによる実質所得の安定化や緩和的な金融政策スタンスなどを背景に、緩やかながらプラス成長が続くと想定されます。ただし、イギリスのEU離脱による資産価格の調整や先行き不透明感の拡大によって景況感が悪化する可能性には注意が必要だと考えています。また、今後、EUからの離脱を目指す動きがイギリス以外に波及する場合にも、政治的な混乱が企業・消費者景況感に与える影響などに注意を要すると判断しています。

### ・運用方針

- (1) 当ファンドはボトムアップアプローチを重視し、成長性・利益構造・財務内容などの観点から、グローバルにヘルスケア市場をリードしていくことができる企業群に投資します。ポートフォリオ構築にあたっては、地域・国別配分、業種別配分ともに市場の時価総額構成比を意識した配分を行ない、世界のヘルスケア株市場全体の動きを反映したリターンの獲得を目指します。
- (2) 業種別配分では、ヘルスケア・プロバイダー／ヘルスケア・サービス、バイオテクノロジーのオーバーウェイト、一方でヘルスケア機器・用品、ライフサイエンス・ツール／サービスなどのアンダーウェイトを維持する考えです。
- (3) 銘柄選択においては、今後の新薬候補の開発やジェネリック薬（後発薬）の動向を検討しながら、M&A（企業の合併・買収）の動向、薬価改定の動き、海外部門収益への為替の影響などに注意したうえで、バリュエーションが割安な銘柄への投資を重視していく方針です。また、バイオテクノロジー株については、引き続き有望な新薬候補を持つ企業を選別し投資を行なっていく考えです。

今後とも、引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年6月30日～2016年6月28日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	円 399 (190) (190) ( 19)	% 1.616 (0.770) (0.770) (0.075)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率  ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等  購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等  ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	10 ( 10)	0.040 (0.040)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	3 ( 3)	0.014 (0.014)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	11 ( 10) ( 1) ( 0)	0.044 (0.040) (0.003) (0.001)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用  監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用  信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	423	1.714	
期中の平均基準価額は、24,713円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2015年6月30日～2016年6月28日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株	千円	千株	千円
		1 ( 1)	4,374 ( -)	0.5	7,264
外	アメリカ	百株 344 ( 27)	千米ドル 2,784 ( -)	百株 443 ( 49)	千米ドル 3,294 ( 175)
	カナダ	10	千カナダドル 158	1	千カナダドル 11
	イギリス	139 ( 21)	千英ポンド 300 ( 74)	164	千英ポンド 335
	スイス	17	千スイスフラン 221	34	千スイスフラン 388
	スウェーデン	-	千スウェーデンクローナ -	227	千スウェーデンクローナ 1,472
国	デンマーク	21	千デンマーククローネ 724	19	千デンマーククローネ 688
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	25	156	57	375
	フランス	2	19	7	54

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

\*( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2015年6月30日～2016年6月28日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,023,515千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,431,572千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.71

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年6月30日～2016年6月28日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	
		百万円	%		百万円	%
株式	458	—	—	564	7	1.2
預金	601	601	100.0	601	601	100.0

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	588千円
うち利害関係人への支払額 (B)	6千円
(B) / (A)	1.1%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社、野村信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2016年6月28日現在)

## 国内株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期		末
	株 数	株 数	株 数	株 数	評 価 額
医薬品 (100.0%)	千株	千株	千株	千株	千円
アステラス製薬	10.7	10.7	11.9	11.9	19,159
中外製薬	1.9	1.9	2.1	2.1	7,581
小野薬品工業	0.8	0.8	2	2	8,762
合 計	株 数	金額	株 数	金額	金額
	銘 柄 数 < 比 率 >		銘 柄 数 < 比 率 >		
	3		3		< 3.5% >

\*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

\*銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する業種の比率。

\*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
ABBOTT LABORATORIES	55	30	114	11,614	ヘルスケア機器・用品	
ABBVIE INC	71	50	298	30,372	バイオテックノロジー	
AETNA INC	6	—	—	—	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
AMERISOURCEBERGEN CORP	22	26	195	19,866	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
AMGEN INC	31	30	447	45,476	バイオテックノロジー	
BAXTER INTERNATIONAL INC.	27	—	—	—	ヘルスケア機器・用品	
BECTON, DICKINSON	16	14	228	23,193	ヘルスケア機器・用品	
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	9	14	104	10,615	バイオテックノロジー	
BIOGEN INC	8	5	123	12,554	バイオテックノロジー	
BRISTOL MYERS SQUIBB	64	49	344	35,025	医薬品	
CIGNA CORP	14	17	207	21,093	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
CARDINAL HEALTH INC	12	8	58	5,991	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
CELGENE CORP	40	34	329	33,468	バイオテックノロジー	
EXPRESS SCRIPTS HOLDING INC-COMMON	44	44	326	33,221	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
GILEAD SCIENCES INC	55	46	359	36,581	バイオテックノロジー	
HUMANA INC	3	3	53	5,394	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
ILLUMINA INC	—	8	108	11,015	ライフサイエンス・ツール/サービス	
JOHNSON & JOHNSON	91	79	922	93,705	医薬品	
LABORATORY CRP OF AMER HLDGS	11	8	100	10,206	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
ELI LILLY & CO.	—	7	52	5,327	医薬品	
MERCK & CO INC	65	54	300	30,539	医薬品	
PFIZER INC	152	136	462	46,968	医薬品	
STRYKER CORP	20	18	206	20,997	ヘルスケア機器・用品	
TEVA PHARMACEUTICAL-SP ADR	64	56	271	27,619	医薬品	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	—	7	98	10,025	ライフサイエンス・ツール/サービス	
UNITEDHEALTH GROUP INC	38	34	477	48,533	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
VERTEX PHARMACEUTICALS	9	8	63	6,491	バイオテックノロジー	
ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	—	21	242	24,616	ヘルスケア機器・用品	
ALLERGAN PLC	14	16	347	35,363	医薬品	
MEDTRONIC PLC	30	28	230	23,442	ヘルスケア機器・用品	
小 計	株 数 ・ 金 額	978	857	7,077	719,324	
	銘柄 数 < 比 率 >	26	28	—	< 70.2% >	
(カナダ)			千カナダドル			
VALEANT PHARMACEUTICALS INTERNATIONAL	—	9	22	1,714	医薬品	
小 計	株 数 ・ 金 額	—	9	22	1,714	
	銘柄 数 < 比 率 >	—	1	—	< 0.2% >	
(イギリス)			千英ポンド			
GLAXOSMITHKLINE PLC	173	149	221	29,817	医薬品	
ASTRAZENECA PLC	67	61	255	34,323	医薬品	
SHIRE PLC	17	44	184	24,768	医薬品	
小 計	株 数 ・ 金 額	258	255	661	88,909	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	3	—	< 8.7% >	
(スイス)			千スイスフラン			
NOVARTIS-REG	56	42	316	32,902	医薬品	
ROCHE HOLDINGS (GENUSSCHEINE)	23	20	491	51,045	医薬品	
小 計	株 数 ・ 金 額	79	62	808	83,948	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	< 8.2% >	

野村世界業種別投資シリーズ（世界ヘルスケア株投資）

銘柄	株数	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等
			株 数	評 価 額	
(スウェーデン) ELEKTA AB-B SHS	百株 227	百株 —	千スウェーデンクローナ	千円	ヘルスケア機器・用品
小 計	株 数 ・ 金 額	227	—	—	—
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	—	< - % >
(デンマーク) NOVO NORDISK A/S-B	50	52	千デンマーククローネ	27,238	医薬品
小 計	株 数 ・ 金 額	50	52	1,808	27,238
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 2.7 % >
(ユーロ…ドイツ) FRESENIUS SE & CO KGAA BAYER AG-REG	52 19	21 17	千ユーロ	15,070 17,121	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス 医薬品
小 計	株 数 ・ 金 額	71	39	287	32,192
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	< 3.1 % >
(ユーロ…フランス) SANOFI	25	20	145	16,258	医薬品
小 計	株 数 ・ 金 額	25	20	145	16,258
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 1.6 % >
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	97	59	432	48,450
	銘柄 数 < 比 率 >	3	3	—	< 4.7 % >
合 計	株 数 ・ 金 額	1,692	1,296	—	969,586
	銘柄 数 < 比 率 >	36	38	—	< 94.6 % >

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○投資信託財産の構成

(2016年6月28日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 1,005,088	% 94.1
コール・ローン等、その他	63,160	5.9
投資信託財産総額	1,068,248	100.0

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 当期末における外貨建て純資産（977,750千円）の投資信託財産総額（1,068,248千円）に対する比率は91.5%です。

\* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=101.63円、1カナダドル=77.77円、1英ポンド=134.39円、1スイスフラン=103.82円、1デンマーククローネ=15.06円、1ユーロ=111.97円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2016年6月28日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,068,248,465
コール・ローン等	61,875,153
株式(評価額)	1,005,088,351
未収配当金	1,284,961
(B) 負債	43,622,323
未払収益分配金	31,885,162
未払解約金	1,022,428
未払信託報酬	10,693,317
未払利息	86
その他未払費用	21,330
(C) 純資産総額(A-B)	1,024,626,142
元本	522,707,584
次期繰越損益金	501,918,558
(D) 受益権総口数	522,707,584口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,602円

(注) 期首元本額は570,674,101円、期中追加設定元本額は231,456,882円、期中一部解約元本額は279,423,399円、1口当たり純資産額は1,9602円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額5,709,236円。

## ○損益の状況（2015年6月30日～2016年6月28日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	23,950,967
受取配当金	23,900,723
受取利息	△ 9,777
その他収益金	62,446
支払利息	△ 2,425
(B) 有価証券売買損益	△312,270,259
売買益	100,958,577
売買損	△413,228,836
(C) 信託報酬等	△ 24,019,413
(D) 当期損益金(A+B+C)	△312,338,705
(E) 前期繰越損益金	144,523,066
(F) 追加信託差損益金	701,619,359
(配当等相当額)	( 188,894,264)
(売買損益相当額)	( 512,725,095)
(G) 計(D+E+F)	533,803,720
(H) 収益分配金	△ 31,885,162
次期繰越損益金(G+H)	501,918,558
追加信託差損益金	701,619,359
(配当等相当額)	( 188,894,264)
(売買損益相当額)	( 512,725,095)
分配準備積立金	112,637,904
繰越損益金	△312,338,705

\* 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2015年6月30日～2016年6月28日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2015年6月30日～ 2016年6月28日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	389,280,654円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	144,523,066円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	533,803,720円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	10,212円
g. 分配金	31,885,162円
h. 分配金(1万口当たり)	610円

## ○分配金のお知らせ

---

1 万口当たり分配金（税込み）	610円
-----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合  
分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合  
分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合  
分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

---

有価証券の指図範囲に新投資口予約権証券を加える所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2015年8月3日>

## 「野村世界業種別投資シリーズ」(マネープール・ファンドを除く)の お申し込み時の留意点

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日(以下「申込不可日」といいます。)があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2016年6月28日現在)

年 月	日
2016年6月	-
7月	4
8月	29
9月	5
10月	-
11月	24
12月	26、27

※2016年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。

「当ファンドの運用の一部を委託されている米国の投資顧問会社(米国投資顧問会社)は、米国の証券関連法令(「米国法」)の適用を受けています。当該米国投資顧問会社は、米国法を遵守するという限定的な目的で、Arthur F. Bell, Jr. & Associates, L.L.C.(「アーサー・ベル社」)を、当ファンドの受益者の「独立した代理人」に任命しました。アーサー・ベル社は、「独立した代理人」として、米国法で求められている口座明細書やその他の必要な通知を、当ファンドの受益者に代わって当ファンドの受託銀行または保管銀行から受け取ります。アーサー・ベル社が「独立した代理人」としての地位を失うのは、(1)同社が辞任したとき、(2)同社の退任を当ファンドの受益者が承諾したとき、または(3)同社の解任が受益者にとって最善の利益になると独立の第三者が判断したときのみです。アーサー・ベル社が「独立した代理人」に任命されることによって、受益者のみなさまが現在受け取っている当ファンドに関する運用報告書の内容、お知らせ、その他の情報に何ら影響が及ぶものではありません。」